

大分リハビリテーション専門学校 言語聴覚士科



＼ デフビーチバレーボール国際親善大会 体験編 ／



12/14(土)15(日) 第7回デフビーチバレーボール国際親善大会に言語聴覚士科1・2年生が参加させていただきました。「デフ」とは聴覚に障害をもつ方のことで、言語聴覚士がサポートを行う障害の1つです。大分駅前の「トヨタカローラ大分 祝祭の広場」で九州初の市街地ビーチコートが設営されました。1・2年生はボランティアとして参加し、空いた時間には選手とビーチバレーを通して交流を深めたり、パラスポーツの体験・試合の応援をしたりとデフビーチバレーを深く知る貴重な機会となりました。来年には、デフリンピック(デフ+オリンピック)も予定されており、より多くの人にデフスポーツを知ってもらえる機会が増えています。